

平成29年度燕市歯科保健計画の進捗状況

健康づくり課

燕市歯科保健計画進捗状況

H29年度の重点的な取り組み

- ①各世代に「よく噛んで食べる習慣」の啓発を行う
- ②定期的な歯科検診や歯科医院受診を勧める

世代	目標	行動目標	平成 29 年度の取り組み	平成 30 年度の取り組み
1 育ちざかり(妊婦・乳幼児 0～5歳)	よく噛んで楽しく食べる習慣と歯磨き習慣に親子で取り組む！	○保護者が毎日仕上げ磨きをする	【健康づくり課・在宅歯科衛生士会】 ・妊婦学級で歯科衛生士の指導で実施(4回) ・離乳食相談会や幼児健診での指導実施 ・幼児歯科健診での指導実施	【健康づくり課・在宅歯科衛生士会】 ⇒ 継続 各事業で「よく噛んで食べる習慣」の啓発を意識する
		○おやつの内容や回数に気をつけて食べさせる	【健康づくり課・在宅歯科衛生士会・各園】 ・園でのむし歯予防教室の開催(10か所) ・園児に食事やおやつの時間によく噛むよう促した	【健康づくり課・在宅歯科衛生士会・各園】 ⇒ 継続
		○よく噛んで食べる習慣をつける	【子育て支援課】 ・子育て支援センターでの歯みがき講座(1か所)	【子育て支援課】 ⇒ 継続
		○定期的に歯科健診・フッ化物歯面塗布を受ける	【健康づくり課・歯科医師会】 ・妊婦歯科健診 (医療機関委託による個別健診に変更 H28 年度～) ・幼児歯科健診の実施	【健康づくり課・歯科医師会】 ⇒ 継続
			【子育て支援課・各園】 ・歯科健診通知書(市内園統一)を活用した歯科受診の勧め(受診結果の把握を可能にした)(H28 年度～)	【子育て支援課・各園】 ⇒ 継続
2 育ちざかり(児童・生徒 6～18歳)	歯や口腔を守る食習慣や生活習慣を知り、自ら実践する！	○親子で歯磨きの習慣をつける	【学校教育課・各学校】 ・給食時の「もぐもぐタイム」導入(可能な学校から) ・保健だより等を活用した保護者への働きかけ	【学校教育課・各学校】 ⇒ 継続
		○自分の歯や口腔に関心を持ち、歯を丈夫にする方法を学び、実践する	【健康づくり課・高校・児童館】 ・赤ちゃん交流会の機会をとらえ、高校生に向けた歯周病予防を啓発。県立吉田高校で2回実施 25人参加	【健康づくり課・高校・児童館】 ⇒ 継続
		○歯肉炎やむし歯になったら早めに受診する	【学校教育課・在宅歯科衛生士会・各学校】 ・小中学校でのむし歯予防・歯周病予防の指導時に啓発	【学校教育課・在宅歯科衛生士会・各学校】 ⇒ 継続
		○歯やからだの健康を考えた食事やおやつの摂り方の工夫をする	【健康づくり課】 ・保健推進委員の地区活動や食生活改善推進委員等の子どもを対象とした食育普及活動時などに啓発を行う	【健康づくり課】 ⇒ 継続
3 働きざかり(19～64歳)	歯や口腔を自分で守る食習慣や生活習慣の継続と、かかりつけ医でのセルフケアチェックを定着する！	○定期的に歯科受診をし、専門的な口腔ケアを受ける	【健康づくり課】 ・歯周疾患検診(対象者:40、50、60、70歳) (医療機関委託による個別健診に変更 H28 年度～) ・唾液潜血反応検査(特定健診時実施) (対象者:19歳以上) (フロスなどの歯間部清掃用具の使用や毎年の歯科定期受診の勧め)	【健康づくり課】 ⇒ 継続
		○歯の健康が全身の健康に影響することを理解する	【歯科医師会】 ・歯周疾患検診の委託実施 ・唾液潜血反応検査有所見者の診療結果報告	【歯科医師会】 ⇒ 継続
		○セルフケアの大切さを理解し、自身の健康維持や8020達成のために行動する	【在宅歯科衛生士会】 ・特定健診会場での唾液潜血反応検査後の指導	【在宅歯科衛生士会】 ⇒ 継続
			【健康づくり課】 ・職域でのつばめ元気ががやきポイント事業のPRを強化 ・商工会での職域健診に歯科保健の普及啓発(新規)	【健康づくり課】 ⇒ 継続
			【職域】 ・歯科検診の実施	【職域】 ⇒ 継続

世代	目標	行動目標	平成 29 年度の取り組み	平成 30 年度の取り組み
4 活躍ざかり(65歳以上)活躍ざかり	定期歯科健診と嚙下体操で食べる楽しみがいつまでも持つる!	○定期的に歯科受診をし、専門的な口腔ケアを受ける	【保険年金課・歯科医師会】 ・長寿歯科健診 (H28 年度～)	【保険年金課・歯科医師会】 ⇒ 継続
		○歯の健康が全身の健康に影響することを理解する ○セルフケアの大切さを理解し、自身の健康維持や8020達成にむけて行動する ○嚙下体操を実施し、飲み込みなど改善することを実感する	【社会福祉協議会・在宅歯科医療連携室】 ・地域のサロンに「歯の健康講座」を周知 ・「歯の健康講座」の実施 (実施件数 16 件 H30.1 月末) 【健康づくり課】 ・保健推進委員や食生活改善推進委員等の活動や研修会及び各種教室で啓発に取り組む (食育セミナー「噛むことから始まる食育」開催や保健推進委員地区別研修会にて歯科衛生士講話実施) ・地域のサロンなど高齢者の集まりを活用し、口腔ケアの重要性や簡単な方法について情報提供 【長寿福祉課】 ・高齢者ニーズ調査 (H28 年度実施) 結果に基づき、燕市歯科保健計画の指標に追加 (「かかりつけ医」「訪問歯科健診」に関する項目)	【社会福祉協議会・在宅歯科医療連携室】 ⇒ 継続 【健康づくり課】 ⇒ 継続
5 介護を要する人・障がい者(児)	口腔ケアの実施と治療を受けやすい環境をつくり、食生活に満足できる!	○介護に関わる人が適切な口腔ケア等を必要な人に実施できるよう、技術を習得する	【在宅歯科医療連携室】 ・専門職に対する口腔ケア実地研修の開催	【在宅歯科医療連携室】 ⇒ 継続
		○治療を受けたい人が受けられる体制を整える	【健康づくり課・長寿福祉課・社会福祉課・在宅歯科医療連携室】 ・訪問歯科健診事業の実施 【社会福祉課】 ・相談支援事業所の相談員に相談窓口(燕・弥彦在宅医療連携室等)を周知 (H28 年度～) 【健康づくり課・在宅歯科医療連携室】 ・在宅の障がい者(児)を対象に「お口の健康チェックシート」を使用(相談員面接時)必要な者に連携室の歯科相談を勧める(新規) 【長寿福祉課】 ・歯っぴー健診の勧め ※はじめて要介護3以上になった(認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱb以下)人へ訪問歯科健診の案内通知	【健康づくり課・長寿福祉課・社会福祉課・在宅歯科医療連携室】 ⇒ 継続 【社会福祉課】 ⇒ 継続 【健康づくり課・在宅歯科医療連携室】 在宅の障がい者(児)を対象とした「お口の健康チェックシート」の活用者を拡大(検討) 【長寿福祉課】 ⇒ 継続 【三条地域振興局】 ・県央地区における障がい者(児)の歯科保健の推進
6 生涯を通じて	歯や口腔の健康を保ち、「食べる楽しみ」「すてきな笑顔」「楽しい会話」でいきいきと過ごす!	○歯磨き習慣やよく噛む習慣を定着させる ○定期的に歯科健診を受ける ○健診・教室などの事業を通して、歯の健康意識を高める	【歯科医師会・健康づくり課】 ・「つばめ元気ががやきポイント事業」こども手帳の対象者の拡大(小学校1~4年生全員、園児及び5・6年生の希望者) ・歯科フェアの開催(つばめ元気ががやきポイント事業抽選会と同時開催)参加者 600名 ・歯の健康川柳募集の拡大 健診時のほかに広報やかんたん申請での募集を行い、受賞作品を広報に掲載	【歯科医師会・健康づくり課】 ⇒ 継続